

※1 太陽熱土壤消毒

たっぷりかん水し、ビニールで地表を覆い、高い地温でセンチュウなどを死滅させる方法

※2 青年就農給付金

45歳未満の新規就農者、または就農を準備している人を対象に、最長7年間(準備期間2年+就農後5年間)、年間150万円を支給する制度。

※3 六次産業化

農林水産物の生産だけでなく、それを原材料とした加工食品の製造・販売や観光農園のような地域資源を生かしたサービスなど、第二次産業や第三次産業にまで踏み込むこと。

【畑かんに関する問い合わせ】

役場農業振興課

畑かん対策係

農政係

☎ 0994-65-8417



国と県

観光・ツーリズムなどを含めた新しい角度から農業を起点とする地域振興策を検討する必要もあるかもしれませんが。

国は、若手の新規就農者を毎年2万人定着させることを目標に「青年就農給付金(※2)の創設や法人

の農業経営参入を促すなど、失業率の増加・生活保護者の増加など社会情勢の変化に伴い「農業」という選択肢を増やしています。

未来を見据え

県では、大隅地域内六地区(下表)で畑かん施設が整備又は整備中ということもあり、大隅加工技術拠点整備計画を策定するなど、大隅地域が食料自給基地であるとし、大隅地域の重要性を明確にしています。

畑かん施設の整備は、企業でいうところの新規事業への設備投資であるとも考えられます。流通の要である、高速道路の整備も着々と進んでいます。また、近

年六次産業化(※3)という言葉を耳にしますが、六次産業化を推進するとすれば、畑かん施設・耕作地の整備は必要不可欠だといえます。安定的に毎日欠かすことなく水を使用できるメリツトを活かし、「農業」の枠だけに留まらない、「六次産業化」といった未来を見据えた発想も必要かもしれません。

畑に水がくる仕組み

長期間に渡り、様々な経緯を経て整備されてきた畑かん施設、一部通水を目前に控え、「今後の畑作」は「今後の肝付町を潤す」多様な可能性を秘めています。農家だけではなく、水がないからできなかったこと、水がくるからできると、考えてみませんか。

大隅地域での畑かん整備地区(肝属以外の5地区)

地区名	関係市町	受益面積
曾於東部	曾於市・志布志市	3,130ha
曾於南部	鹿屋市・志布志市・大崎町	4,000ha
曾於北部	曾於市	2,052ha
笠之原	鹿屋市・肝付町	2,452ha
肝属南部	錦江町・南大隅町	648ha